



2021年11月22日

国際ロータリー第2760地区
ロータリークラブ 会長・幹事 各位

国際ロータリー第2760地区
ガバナー 杓名俊裕
地区幹事 細井英治

「静岡県熱海豪雨災害（2620地区）」および 「佐賀・長崎豪雨災害（2740地区）」義捐金についてのご報告

拝啓 向寒の候 皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は地区ロータリー活動に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

早速ではございますが、過日ご支援をお願いいたしました、「静岡県熱海豪雨災害（2620地区）」および「佐賀・長崎豪雨災害（2740地区）」義捐金について下記の通りご報告をいたします。

また、被災地域の地区より、お礼状をいただいておりますのであわせてご紹介いたします。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

敬具

記

・静岡県熱海豪雨災害（2620地区）

義捐金総額 3,787,321円

2021年9月2日にRI第2620地区へ送金いたしました。

・佐賀・長崎豪雨災害（2740地区）

義捐金総額 2,961,000円

2021年11月9日にRI第2740地区へ送金いたしました。

以上

2021年9月22日



RID2620 熱海豪雨災害支援報告Ⅱ

国際ロータリー 2021～2022 年度
同期ガバナーの皆様

RID2620 熱海災害支援本部
本部長 小林聰一郎

熱海市へ追加の義援金 927,9328 万円を贈呈

皆様のご支援に深く感謝申し上げます

国際ロータリー第 2620 地区熱海豪雨災害支援本部は 9 月 16 日、熱海市役所を訪れ、齊藤栄熱海市長へ 927,9328 円の目録を手渡しました。8 月 20 日に次ぐ 2 度目の贈呈で、今回の寄付は熱海市からの要請により、義援金として被災者支援に充てられる予定です。

熱海市の土石流災害への寄付総額は、1 回目の支援金 6100 万円と合わせ、70,279,328 円となりました。

また、同災害へのお見舞いや義援金として、熱海南 R C (吉田耕之助会長) へ地区内外の R C とグアムのタモンベイ R C や台湾台中文心 R C から総額 3,848,844 円をお贈りいただきました。

全国の皆様からの温かい大きなご支援に、厚く御礼申し上げます。

以上を持ちまして、国際ロータリー第 2620 地区熱海豪雨災害支援本部の活動を終えさせていただきますことをご報告させていただきます。

皆様のご支援ご協力に深く感謝を申し上げ、報告とさせていただきます。

9 月 16 日熱海市役所での義援金贈呈式 場所:熱海市役所



■新聞で紹介されました。どうぞご覧ください。

◇2021年9月17日付 静岡新聞(添付は同社オンライン「あなたの静岡新聞」掲載)

熱海土石流義援金 市に900万円を寄付 国際ロータリー

2021.9.17

静岡、山梨両県のロータリークラブ(RC)でつくる国際ロータリー第2620地区(小林聡一郎ガバナー)は16日、熱海市伊豆山の大規模土石流の義援金約900万円を市に寄付した。熱海南RC(吉田耕之助会長)も同日、国内外のRCから寄せられた計約400万円を寄付した。

◇2021年9月22日付 伊豆毎日新聞

【第3種郵便物認可】 昭和44年10月3日国鉄関東支社特別扱承認第117号

伊豆毎日

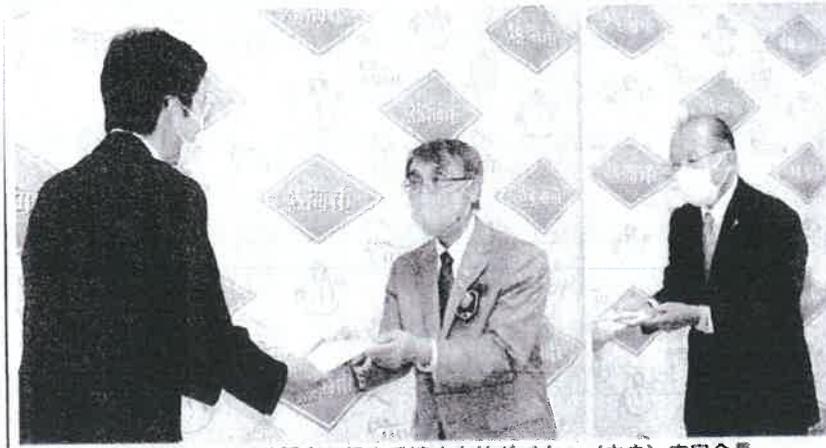
熱海豪雨災害への追加義援金

国際ロータリー第2620地区、熱海南RC

先般、熱海市へ熱海豪雨災害支援金6100万円を寄付した国際ロータリー第2620地区(山梨県・静岡県小林聡一郎ガバナー、中尾均地区幹事)はこのほど、全国から寄せられた浄財追加分約900万円を被災者支援のための義援金として寄付した。併せて、熱海南ロータリークラブ(吉田耕之助会長、鈴木和子幹事)も全国より贈られた浄財約400万円を義援金として寄せた。

小林ガバナー(甲府北RC)、中尾地区幹事(甲府北RC)、吉田会長、網代多賀RC、増川勲会長らが来庁し、第1庁舎4階市長応接室で斎藤市長にこれら義援金の目録を贈呈した。

同地区では、小林ガバナーを本部長として、「2620熱海豪雨災害支援本部」を設置し、熱海豪雨



斎藤市長(左)に義援金目録を手渡す小林ガバナー(中央)、吉田会長

米山学友会地区米山学友会などから寄せられた浄財を先般寄付し、今回は追加分で寄せられた浄財を寄付した。

熱海南RCには、姉妹クラブのグアム・タモンベイRC、台湾のRCや日本各地のRCから浄財が寄せられた。

義援金贈呈の席上、小林ガバナーは「前回は支援金でしたが、今度は義援金で、地区から頂きました。是非、被災された皆様のお力になるようにお使いください。多くのロータリーのみんなが困っている人に一助になるようにとの気持ちです」と話し、吉田会長は「熱海南ロータリークラブ

マリンホール
 22日
 ▼ライジボール卓球教室 11時~21時(スポーツホール)
 ▼ストレッチ教室 10時30分~12時(舞台)
 ▼ウォーキングエアロビ 10時30分~12時(武道場)

学 校 だ よ り
 22日
 ▼泉小 総練習
 ▼初島小 中川体育祭 絵食なし
 ▼泉幼 11時~12時 コーヒー
 ▼ステイバル総練習

にも、直接、全国のクラブから贈って頂きました。それも義援金としてお渡します」と述べ、斎藤市長は「過大な浄財を頂きました。先般は支援金で、被災者の生活を支援する公的な支援が届かない分野で準備しています。避難者がバラバラにならないよう、情報を集約し、引き続きサポートしていきます。義援金も

配分委員会で複数回に分け、きょうの義援金もこれに乗せして、しっかりと届けます」と述べ、義援金の有効活用を約束するとともに、感謝を伝えた。

また、小林ガバナーは「まだしばらく時間がかかる復興になると思うが、全国のロータリアンの気持ちを活かし、取組んで頂きたい」と述べた。

新型コロナウイルスの陽性を確認
 県は20日、新型コロナウイルス感染症の県内2万6255例目となる市内居住者1人が確認されたと発表した。熱海市経路は不明。

では277例目。
 発表によると、277例目患者は高齢でない人で、性別の公表は望まない。発症日は18日、陽性確認日は19日。濃厚接触者は同居家族。推定感染経路は不明。

9/22(水) FM熱海湯河原
FM79.6 エフエム熱海湯河原
 Mail: fm@ciao796.com
 FAX: 0557-82-0964
 5:00 元気はつらつ歌謡曲
 6:25 今日のゴミ収集
 30 広報あたま・ゆがわら
 7:00 モーニングスパ796
 岩本尚美

2021年11月11日

国際ロータリー第2760地区
ガバナー 沓名 俊裕 様

国際ロータリー第2740地区
ガバナー 塚崎 寛

佐賀・長崎豪雨災害支援金のお礼

謹啓 晩秋の候 貴地区におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度の佐賀・長崎豪雨災害に際しましては、ご厚情あふれるお見舞いのお言葉をいただいたばかりか、支援金をお送りくださいましたこと、誠にありがたく衷心よりお礼申し上げます。

報道等でご承知の通り、令和3年8月11日から降り続いた記録的な大雨による、佐賀・長崎両県の大雨災害により、被災地では土砂崩れ、河川の氾濫、低地の浸水による住居の浸水、田畑の冠水など甚大な人的・物的被害をもたらすこととなりました。

皆様方のご厚志は、災害支援本部で取りまとめ、この支援金に託す全国のロータリアンの心と共に被災地域に寄託してまいる所存でございます。

末筆となりましたが、ガバナーにおかれましては、ご多忙の中、地区内ロータリークラブのお取り纏めをいただく等、ご支援とお力添えを賜り誠にありがとうございました。重ねて厚くお礼申し上げますと共に、ご支援賜りました皆様方へ何卒宜しくお伝えいただきますようお願いいたします。

略儀ながら、取り急ぎ書中をもちましてお礼のご挨拶に代えさせていただきます。

謹白

2021年12月3日

国際ロータリー 2021～2022年度
同期ガバナーの皆様

RID2740 佐賀・長崎豪雨災害支援本部
本部長 塚崎 寛

佐賀・長崎豪雨災害支援金について（ご報告）

拝啓 初冬の候、貴地区におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度の佐賀・長崎豪雨災害に際しまして、ガバナー会を通じて全地区へ災害支援金の要請を发出させて頂きましたところ、迅速な善意溢れるご対応を頂き、地区やクラブ、台湾姉妹クラブから多額の浄財が寄せられました。

11月30日現在各地区からの送金額合計は46,331,319円にのぼりました。改めて心より御礼申し上げます。

本支援金につきましては佐賀県へ11月9日 3000万円、長崎県雲仙市へ11月11日1000万円、被災地域クラブに5,050,000円を贈呈致しました。

残りにつきましては、第二次支援金として近く、被災地域にお贈りする予定です。

皆様のご支援ご協力に深く感謝を申し上げ、取り急ぎご報告させていただきます。

なお、11月30日を持ちまして支援金の受付を終了とさせていただきます。何卒、ご了承の程、お願い申し上げます。

敬具

佐賀県、雲仙市に義援金を寄贈

2021年8月の集中豪雨に伴う被災に対して、全国34地区、84,000人のロータリアンから集まった義援金を、11月9日（火）に佐賀県に対し3,000万円、11月11日（木）に雲仙市に対し1,000万円を災害見舞金として寄贈しました。

全国から義援金をお寄せくださったロータリアンの皆様に深く感謝申し上げます。

■ 佐賀県への寄贈



大雨被災地へ 全国から3000万円 国際ロータリー地区 第2740

佐賀市
佐賀県と長崎県を管轄する国際ロータリー第2740地区は9日、佐賀県内で8月に発生した記録的大雨の義援金として3千万円を贈った。県は、被災した武雄市や大町などの自治体を通じて被災者に届ける予定。

義援金は全国34地区の8万4千人から集まった。県庁を訪れたガバナーの塚崎寛さん(67)は「大町町や武雄市など大水害だった。復旧支援のために活用してほしい」と述べた。

感謝状を手渡した山口祥義知事は「大きな支援をいただいたことは、何よりも(被災者の)心に響くと思う。有効に使わせてもらいたい」とお礼を述べた。
(岩本大志)

義援金の目録を山口祥義知事(右)に手渡した塚崎寛さん(左)は、佐賀市の佐賀銀行

佐賀新聞：2021年11月12日掲載

テレビ放映

STS（サガテレビ） ローカルニュースにて報道

■ 雲仙市への寄贈



2021年11月12日 長崎新聞掲載

同市役所で贈呈式があり、塚崎ガバナーが金澤秀三郎市長に目録を手渡し、「湯のまち雲仙の復興に役立ててほしい」と激励。市長は感謝状を贈り、「（ロータリークラブの）ネットワークを利用した活動に感謝する。創造的な観光復興に活用したい」と述べた。

この災害で、同市を窓口として寄せられた義援金などは今回を含め計86件、総額約1700万円になった。（宮崎智明）



金澤市長に寄付金の目録を手渡す塚崎ガバナー（右）と雲仙市役所

雲仙災害復興へ市に100万円寄付

国際ロータリー2740地区

8月の大雨土砂崩れで被災した雲仙市の雲仙温泉街復興のため、長崎、佐賀両県のロータリークラブ56団体で構成する国際ロータリー第2740地区（塚崎寛ガバナー）は11日、全国のクラブから募った寄付金1千万円を同市に贈った。

寄付したのは全国34地区の会員約8万4千人。

2021年11月13日 島原新聞掲載

雲仙の観光復興に役立てて 市に善意の1千万円寄付

国際第2740地区

長崎、佐賀両県の国際ロータリー56団体で構成する国際ロータリー第2740地区（塚崎寛ガバナー）は11日、全国のクラブから募った寄付金1千万円を同市に贈った。この寄付金は、8月の大雨土砂崩れで被災した雲仙市の観光復興に役立ててほしいという思いから集められた。同地区は、雲仙市に100万円を寄付し、市長に目録を手渡した。市長は感謝状を贈り、「（ロータリークラブの）ネットワークを利用した活動に感謝する。創造的な観光復興に活用したい」と述べた。

雲仙市に100万円寄付

国際第2740地区

長崎、佐賀両県の国際ロータリー56団体で構成する国際ロータリー第2740地区（塚崎寛ガバナー）は11日、全国のクラブから募った寄付金1千万円を同市に贈った。この寄付金は、8月の大雨土砂崩れで被災した雲仙市の観光復興に役立ててほしいという思いから集められた。同地区は、雲仙市に100万円を寄付し、市長に目録を手渡した。市長は感謝状を贈り、「（ロータリークラブの）ネットワークを利用した活動に感謝する。創造的な観光復興に活用したい」と述べた。



金澤市長に寄付金を手渡す国際ロータリー第2740地区の塚崎ガバナー（右）

テレビ放映

NIB（長崎国際放送）

NBC（長崎放送）

ローカルニュースにて報道

ローカルニュースにて報道